

広島県知事の湯崎です。

県では、県内の感染実態を把握し、今後の感染拡大防止対策を検討するため、広島大学に委託して抗体検査を実施しています。

これは、県内延べ約1万人の方を対象に実施中で、無作為に抽出された方に3回同じ検査を受けていただくものです。

今回は8月から9月にかけて行った第1回調査の結果が出ましたのでご説明します。

第1回調査については、実際に参加いただいた方は3025名で、そのうち抗体陽性者は4名、陽性率にすると0.13%という結果でした。

この結果から言えることは、大半の方が抗体を持っておらず、県内ではコロナが蔓延しているという状況にはないと考えられます。

また、抗体検査を受けた方のアンケート結果によると、マスク着用、うがい・手洗いの徹底、咳エチケット、人込みを避ける、などの基本的な感染防止対策を実践されていたのでこれらの対策は有効と考えられます。

しかし、抗体を持っている方の数が少ないということは、言い換えれば、今後、蔓延する可能性も十分あるということです。

そこで、皆様へ改めてお願いです。

引き続き、新型コロナをガードしていくために、風邪症状があれば、外出や出勤を控えてすぐに医療機関へ電話で相談し、検査を受けてください。

今後、年末年始やクリスマスなどの多くの人が集まる季節の行事がたくさん控えています。

こうした行事に参加する場合なども、3密を避けていただき、感染防止対策の徹底を継続していただきますようお願いいたします。

行事を主催する皆さん、参加する皆さんそれぞれが感染防止を徹底したうえで、季節の行事も楽しんでいただければと思います。